

～元氣の出るエピソード～

私は外来看護師として医師の診察前に待合室で、通院されている患者様や御家族様から身体症状や生活状況などをお伺いしています。

その時に、御家族様が患者様のお顔を見ながら穏やかに声をかけている姿、手や足をマッサージしながらマスクをしても笑顔と分かる表情で会話している姿、また、検査で一時的に御家族様と離れた患者様が、検査を終えて戻られた時に、にこやかなお顔をされる姿を拝見することがあります。お互いを信頼し合い、寄り添い、素敵な御家族だなと私も心が温まります。

通院されている患者様の中には、平穏な生活をしていくことが難しくなっている方もいらっしゃると思います。皆様の笑顔で私が元気を頂いているように、通院時に心配事が1つでも軽減し、笑顔になって頂けるようなお手伝い出来るよう、日々精進して参ります。

外来看護師 布川 香代子



診もり短歌



デイケアやショートステイの利用
 古いと介護者元気をもらう
 Dr.ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信 2月号

発行日 令和4年2月1日



一昨年から続いている新型コロナウイルス感染症による影響がワクチン接種や感染予防対策等により、ようやく落ち着いてきたと思っていたところ、新たにオミクロン株の世界的大流行となり、まだまだ予断を許さずいろいろな場面において制限される生活が続くものと思われまます。

社会全体としても個人としても我慢の時がもう少し続きそうではございますが、そのような状況でもできないことを嘆くのではなく、コロナ禍の中でもできることを考え、日々問題を解決する適切な手段を見出し、どうすれば解決できるのか、どうすれば目的を達成できるのかを考え、実践することが求められています。

私共としましても、認知症疾患患者様の医療介護において、埼玉県蓮田という地域を中心に「大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい」という当院の理念を忘れることなく、病院に関わるすべての人が満足していただける、幸せを感じる事ができる一助となる医療機関でありたいと思ひ、より一層業務に励んで参ります。

結びにコロナ禍の一日も早い終息を願ひ、皆様にとりまして、新しい一年が明るく希望に溢れ更なる飛躍の年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

常務理事 藤中 秀樹



～よつばご飯～



※写真は職員食の写真となります。

年末年始になるとどのご家庭でもたくさんのご馳走が食卓に並ぶのではないのでしょうか。当院でも、患者様が出来る限り普段通りに近い生活ができるよう、年末年始には豪華な食事を提供させていただいております。今回は大晦日の献立を紹介させていただきます。

管理栄養士 水野俊

献立
 主食：年越しそば
 副菜：胡瓜と春雨の梅和え
 副菜：春巻き
 デザート：抹茶水ようかん

栄養価
 エネルギー：682kcal
 たんぱく質：22.2g 脂質：12.0g
 炭水化物：113.9g 塩分：4.3g
 ※行事食につき、栄養価は若干高めになっております

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症外来	鈴木	非常勤	非常勤	鈴木	鈴木・非常勤(隔週)	休診
	根岸		一木 (2/2, 2/16のみ)			
一般内科	窪山		窪山	窪山	窪山	
午後(新患のみ)		鈴木				休診

※内科受診に関しては、他院での受診をお願いさせていただく場合がございます。

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	
8:45~11:30	13:00~15:00	9:00~12:00	14:00~17:00	現在 面会制限中※

※入院患者様への面会は木・土の予約制となっております。ご了承ください。スカイプを利用したのオンライン面会も予約制のためご連絡ください。

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
 〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
 電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
 よつば訪問看護リハビリステーション
 電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
 テイクアわかば

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
 お電話での予約が必要になります
 ・紹介状
 ・お薬手帳をご持参ください。
 予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい
 ○休診日○
 土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 毎月第一土曜日 10:00~12:00
 認知症カフェ
 はすカフェ
 蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

QOL推進部の取り組み

お薬を服用される皆様へ
薬の包装は、プラスチックにアルミなどを張り付けたPTP包装シートと呼ばれるものが主流となっています。

最近、この包装シートを間違えて飲み込んでしまう事故(誤飲)が増えています。

・誤飲の原因は「ついうっかり」
「外出時にあわてて」、「会話をしながら」、「テレビを見ながら」、「暗い部屋で服用したら」などついうっかりして飲み込んでしまうことが多いようです。

・お薬は包装シートから取り出してお飲みください

うっかり誤飲を避けるために、包装シートを1錠ずつ小さく切り離さないでください。

その都度、お薬を出して服用してください。

飲み込みやすいサイズになってしまう上、切った角が鋭くなりケガをしやすくなります。

また、ご本人のうっかり誤飲だけではなく、ご家族の小さなお子さんやご高齢の方の誤飲を招くこともあり、とても危険です。



お薬のシートにはさみで切り、一錠ごとに分けられないこと！
管理が難しい方は薬を用法ごとに分包(袋)することもできます！



～よつば訪問看護リハビリステーション～

今回は不安を抱えながら在宅生活を始めたご家族の例を紹介させていただきます。

Sさん、80歳男性 脳梗塞を発症しリハビリ病院で療養生活をおくっていた方です。

施設入所も検討される中、去年の8月にご本人・奥様が在宅生活を強く希望したため、退院後に在宅療養を開始しました。奥様との二人暮らしで介護力不足が懸念され、県内に住む長男夫婦も在宅は無理なのではと心配し反対の様子でした。退院後はデイサービス・訪問介護・訪問看護を利用しての在宅療養となりました。

はじめは本人からは拒否的な言動が多く、訪問時には固い表情のことも少なくありませんでした。奥様も初めての介護で疲れがたまり精神的にふさぎ込んでいる様子でした。退院後2か月間位は奥様から「疲れた」の発言が多く聞かれ、疲労困憊の様子もみられ在宅は難しいのかなと思う事もありました。ただ奥様が在宅で見てあげたい気持ち、本人の家で過ごしたいという思いは変わらなかったため、訪問時には奥様の訴えを傾聴し、必要なサービスを利用して介護負担を軽減できるようケアマネージャー、他関連機関との連携を密に行うよう努めました。

そうした中、奥様も自宅での介護に徐々に自信を持ち始めた様子で、3か月目頃には「家で見てあげられてよかった、なんとかなるものね」と話してくださるようになりました。また本人からは「家が一番だよ」との発言が訪問の都度聞かれるようになり、お二人の表情も明るくなりました。はじめ反対していた長男夫婦も「母はよく頑張っている。父も入院していた時より明るくなったし、しっかりしてきた」と在宅生活を認めるようになりました。現在、自宅で介護サービスを利用しながらお二人で仲良く生活することができています。

私たち訪問スタッフはご自宅で生活する利用者様にもっと元気に快適に安心して過ごして欲しいという気持ちを常に持ってケアを行っています。昨今入院日数の減少で不安を抱えたまま退院してくる利用者様も少なくありません。そのような中で利用者様が安心して生活できるよう、気持ちに寄り添ったケアを提供し利用者様にとって頼れる存在となれるように努力していきたいと思っております。

訪問看護 看護師 本間 静香

看護部の取り組み

こんにちは。いつもお世話になりありがとうございます。看護部副部長の佐藤美佐江と申します。今回は蓮田よつば病院の看護部の成り立ちについてご紹介いたします。

看護部理念:「すべての人の心と人格を尊び、質の高い心のこもったケアを提供します」

目的 :「心身の残存機能を最大限に活かし、その人らしい生活を取り戻せるように支援していきます」

看護部は病棟の看護師、ケアスタッフと外来・デイケアの看護師が所属しております。総勢76名(1/12現在)で日々、患者様・利用者様の日常生活の援助と健康管理を行っております。理念を目指し、目的を達成するために、私たちに何ができるのかを常に考え続け、専門職として日々向上心を持って仕事に取り組んでいます。

10月～12月にかけてオンライン講習で「認知症ケア集中セミナー」を学びました。また、看護協会主催の「認知症対応力向上研修」にも数名が参加しました。認知症になってもその人らしく生活ができ、今日よりもより良い明日になるように、看護師とケアスタッフが協力し合い、うまくいった対応方法や反対に失敗してしまった対応方法を情報共有しています。認知症の患者様には顔見知りの関係を築くことがとても大切です。「この人は優しくしてくれる安心できる人」と感じていただくことにより、興奮状態の患者様でもお話を聞いていると徐々に落ち着き、お薬に頼らない落ち着きに結びつきます。スタッフは接遇やアンガーマネジメントの勉強会に参加し患者様とスタッフの関係性、スタッフとスタッフの関係性にも配慮した、誰にでも心地よい環境を提供できるよう努力しております。

認知症のことでお困りの時は外来受診・デイケア利用・訪問看護・入院など状態に応じたサポート体制を整えておりますので、外来看護師、相談員などにお気軽にお声かけいただきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部副部長 佐藤美佐江



～よつば病院作業療法風景～

コーヒー療法



今月の予定

○誕生会 2階・3階病棟
随時おこないます

感染症対策のためはすカフェ、
認知症予防教室、クラブ活動
等を中止させていただきます。
ご了承ください。